

K&W

第67号

神奈川と溶接

KNG
WES一般社団法人
神奈川県溶接協会

〒210-0001 川崎市川崎区本町2-11-19

Tel. 044-233-8367 fax 044-246-5265

E-mail: contact@kngwes.or.jp

web: https://www.kngwes.or.jp/index.html



神奈川県溶接技術コンクール入賞選手と関係者

2022年度 第65回神奈川県溶接技術コンクール表彰式

2022年度（第65回）神奈川県溶接技術コンクール（被覆アーク溶接および炭酸ガスアーク溶接）表彰式は、神奈川県および一般社団法人神奈川県溶接協会共催により、去る2022年3月25日（金）に、（一財）日本溶接技術センターの大講堂にて挙行されました。参加者35名（被覆アーク溶接11名・炭酸ガスアーク溶接24名）のうち、優勝2名、準優勝2名、優良賞7名が表彰されました。

表彰式では、主催者である神奈川県を代表して産業労働局産業部産業振興課副課長の高橋健様より入賞者へのお祝いの言葉とともに、県知事賞の授与が行われました。また、審査委員長の神奈川県立産業技術総合研究所の岸本幸宏副理事長より審査内容についてのご講評を頂きました。

なお、今年度の第67回全国溶接技術競技会は、青森県青森市の県立青森工業高等学校において9月25日（日）に開催されました。

神奈川県代表選手は各部門の優勝者2名、準優勝者2名の4名を推薦しました。

《第67回全国溶接技術競技会青森大会推薦選手（敬称略）》

被覆アーク溶接の部：西本直矢（(株)大倉製作所）

伊藤文孝（コベルコ溶接テクノ(株)）

炭酸ガスアーク溶接の部：村山裕也（ジャパンマリンユナイテッド(株)）

古家 駿（コベルコ溶接テクノ(株)）

※青森大会の結果は、次回68号で報告いたします。



挨拶される高橋副課長

優勝した2選手
左から西本氏、村山氏

被覆アーク溶接の部

神奈川県知事賞：(株)大倉製作所 / 団体賞：(株)大倉製作所 / 個人賞優勝：西本 直矢

炭酸ガスアーク溶接の部

神奈川県知事賞：ジャパンマリンユナイテッド(株) / 団体賞：ジャパンマリンユナイテッド(株) /

個人賞優勝：村山 裕也

入賞者(得点800点満点で総得点720点以上の上位30%程度)

《被覆アーク溶接》

1位：西本 直矢/(株)大倉製作所

2位：伊藤 文孝/コベルコ溶接テクノ(株)

3位：畠山 光輝/JFEエンジニアリング(株)

《炭酸ガスアーク溶接》

1位：村山 裕也/ジャパンマリンユナイテッド(株)

2位：古屋 駿/コベルコ溶接テクノ(株)

3位：楠本 和輝/ジャパンマリンユナイテッド(株)

4位：徳永 雄太/東芝エネルギーシステムズ(株)浜川崎工場

5位：兼平 雅樹/東芝エネルギーシステムズ(株)京浜事業所

6位：浅海 大輝/ジャパンマリンユナイテッド(株)

7位：青山 正人/(株)総合車両製作所

8位：松元 勇太/東芝エネルギーシステムズ(株)京浜事業所

(敬称略)

2021年度 第66回全国溶接技術競技会中部地区三重大会

コロナ禍の影響で2020年11月、2021年11月、2022年2月と3度の延期となった第66回全国溶接技術競技会中部地区三重大会が、2022年4月17日(日)に会場をポリテクセンター三重からJFEエンジニアリング(株)津製作所研修センターに変更して開催されました。

技術交流会・競技見学・作品展示の取り止めや付添い者の制限、参加者全員から感染防止対策順守の誓約書提出、競技会場への時差集合などの感染拡大防止対策を徹底しての開催となりました。

神奈川県から被覆アーク溶接の部に玉川裕貴選手(富士電機(株))、斎藤拓哉選手(JFEエンジニアリング(株))、炭酸ガスアーク溶接の部に藤田智大選手(富士電機(株))、今村圭稀選手(富士電機(株))の4名が出場し炭酸ガスアーク溶接の部で富士電機(株)藤田選手が優良賞を受賞しました。



左端が入賞した藤田選手

2023年(第66回)神奈川県溶接技術コンクール開催のお知らせ

第66回神奈川県溶接技術コンクールが下記の通り開催されます。日頃鍛えた腕前を試す格好の場となるかと存じます。

多くの方々のご応募をお待ちしております。

競技実施要項をご希望の方は、(一社)神奈川県溶接協会までお問合せください。

ホームページにも要領・申込書を掲載予定です。

— 記 —

- ・主 催 神奈川県／一般社団法人神奈川県溶接協会
- ・開催期日 2023年3月24日(金) (申込締切日 2023年1月26日)
- ・会 場 一般財団法人日本溶接技術センター
- ・参加資格 県下の溶接従事者で、各事業所から推薦された者又は県内在住又は在勤の個人
県下の高等教育機関に籍を置き、溶接工学を履修する学生で、各教育機関から推薦された者
- ・競技課題 全国溶接技術コンクール課題と同様(昨年度の県コンクールと同様)

※当協会では、初めて参加される方や課題克服のための技術指導をベテラン講師により行っております。指導内容や費用等はお気軽にお問合せください。

「呼吸保護具のフィットテスト実施要領」説明会 特別講演「溶接の可視化と制御(深層学習の適用)」のお知らせ

前回ご好評をいただきました金属アーク溶接等作業における特定化学物質障害予防規則等の改正に関する説明会の第2回を開催いたします。

前回6月2日(木)に開催した際は、募集人数30名のところ多数のご応募をいただき急遽募集人数を増やし60名の方にご参加いただきました。

今回は、特別講演として「溶接の可視化と制御(深層学習の適用)」を行いますので奮ってご参加ください。

- ・開催日 2022年11月29日(火) 13:00～16:30 予定
- ・会 場 波止場会館(横浜市港湾労働会館)
- ・定 員 50名
- ・参加料 1,000円(税込み) / 1名
- ・プログラム(時間割は未定)
 1. 溶接の可視化と制御(深層学習の適用) 埼玉大学 山根 敏 教授
 2. 特定化学物質障害予防規則等の改正について 埼玉大学 山根 敏 教授
 3. フィットテストの概要とデモ(定量的/定性的) 興研(株)

・申込方法

団体会員様宛に参加申込書を郵送でお送りいたします。

ご希望の方は、参加申込書に必要事項をご記入の上、メールかFAXでお送りください。

※申込書到着順で満席になり次第締切

第12回関東甲信越高校生溶接コンクール

第12回関東甲信越高校生溶接コンクール同時開催北陸高校生溶接コンクール（主催：東部地区溶接協会連絡会）が7月16日(土)に2022国際ウエルディングショー（東京ビックサイト7ホール特設会場）において開催されました。

関東甲信越地区代表20名、北陸地区代表6名の計26名が参加。

神奈川県代表は、2022年2月23日（水・祝日）開催した「第13回神奈川県高校生溶接コンクール」で2位に入賞した県立神奈川工業高等学校の高橋大介選手と3位に入賞した県立向の岡工業高等学校の山川未浩選出が出場しました。（優勝した県立平塚工科高等学校の山田琉璃葵選手は、3年生のため卒業となり2位、3位の選手が出場）

新型コロナ感染拡大防止対策として開会式、表彰式なし。当日は指定の時間に集合し、受付後競技を行い、終了後は速やかに退出。審査結果及び表彰状等は、後日各学校へ通知と言った感染防止対策を徹底しておこなわれました。

普段とは違いウエルディングショー来場者の視線に緊張しながらも各選手、今まで練習してきた溶接の技術を発揮していました。

結果は、第12回関東甲信越高校生溶接コンクール大会の部で見事に神奈川県代表の県立向の岡工業高等学校の山川未浩選手が最優秀賞を受賞し、8月9日（土）の「第6回全国選抜高校生溶接技術競技会in新居浜」と11月12日（土）、13日（日）に開催する「第22回高校生ものづくり全国大会（エキシビション）」に推薦されました。

（一社）神奈川県溶接協会としても選手と一丸となって本大会での上位入賞を目指し（一財）日本溶接技術センターに練習の場をご提供いただき練習会（土曜日3回）を行った成果が実を結んでうれしく思っております。

8月9日（土）に開催された「第6回全国選抜高校生溶接技術競技会in新居浜」では、山川選手は見事に優良賞（3位）を受賞しました。

当協会では、引き続き「第22回高校生ものづくり全国大会（エキシビション）」での上位入賞に向けて練習会を実施し支援いたします。



第3組出場選手（2列目右から1番目と2番目が神奈川県代表選手）



競技風景

高校生夏季研修会

（一社）神奈川県溶接協会は（一財）日本溶接技術センターと共同で神奈川県教科研究会工業部会が主催する神奈川県教科研究会工業部会 機械部門 夏季研修会「アーク溶接技能講習」を7月26日（火）～28日（木）の3日間開催しました。

この研修会は、高等学校の教師および生徒に被覆アーク溶接の基礎や安全についての知識を学んでもらうもので、5校12名の生徒が参加しました。

猛暑のなか教師も生徒も時間を忘れて終了時間を過ぎてても熱心に取り組んでいました。

また、7月16日に開催した第12回関東甲信越高校生溶接コンクールで最優秀賞を受賞した山川選手も参加し学習に励んでおりました。

研修会で使用した溶接棒は(株)神戸製鋼所様よりご提供いただきました。



参加生徒と講師



練習風景

寄稿記事（溶接女子の活躍）

(株)IHI 兼広 尚典

会員の皆様、ご安全に。(株)IHI 横浜工場の兼広です。当工場は1967年設立で、JR根岸線の新杉田駅から徒歩5分程の根岸湾内にある工場です。操業開始以来一貫して、原子力発電に関連した機器（原子炉圧力容器、格納容器、熱交換器、配管等）を主要製品として製造しており、原子炉圧力容器や格納容器では、世界有数の製造実績を誇る製缶・機械加工工場です。このような工場ですが、巨大な重量構造物を扱う工場というイメージもあり、設立以来過去50年以上にわたり製造現場への女性の採用はなく、完全な男性職場でした。そんな中で、男性とは異なる女性の視点や感性を品質の向上や業務の改善に取り入れようと、2017年より女性の職場への受け入れを開始しました。受け入れ開始当初は、重たいものは持たせられない、キツイ仕事は任せてよいのだろうか、など手探りで職場環境整備でしたが、我々の予想を大きく上回る女性社員の活躍もあり、徐々にですが職場環境が整備されてきました。今回は「溶接女子の活躍」ということで、当工場製造部に所属する2名の女性社員の活躍について紹介いたします。

<今回紹介する女性社員>



中島 くる実 さん

2017年入社(入社6年目)

技能五輪全国大会 電気溶接職種 敢闘賞

水腰 円嘉 さん

2020年入社(入社3年目)

神奈川県溶接技術コンクール アーク溶接 5位

Q. 溶接を仕事にしようと思ったきっかけは何ですか？

A. (中島さん) 高校時代に初めて溶接をして、練習をするほど思い通りに引けるようになるビードを見て溶接に魅力を感じ、もっと溶接を知りたい、仕事にしたいと思いました。

A. (水腰さん) 工業高校で初めて溶接を経験し、色々な溶接を試してみたい、見てみたいと思いました。

Q. 現在どんな仕事をしていますか？

A. (中島さん) 国内原子力現地サイトにおける配管の溶接作業をしています。

A. (水腰さん) 原子力の配管や、その配管を支える構造物（サポート）の溶接をしています。

Q. 現在の仕事で一番面白いと思ったことは何ですか？

A. (中島さん) 狭い場所、辛い姿勢での溶接ほど、仕上がった時の達成感を味わうことができる点です。

A. (水腰さん) 溶接は、人によって溶接する姿勢や方法が違って、自分に合う溶接方法を見つけていくのが面白いです。

Q. 仕事をする上で大切にしていることは何ですか？

A. (中島さん) 分からないことは必ず先輩に聞いて明確にして進める。同じミスは繰り返さない様、ミスの原因を突き止める。

A. (水腰さん) 確認と丁寧に作業することです。確認を怠ったり、雑に作業すると良い製品を作れないからです。

今回は弊社で活躍する2人の溶接女子を紹介させて頂きました。今後も溶接の魅力を発信しつつ、誰もが活躍できる職場環境の構築を進めていきたいと思っております。

機関誌に関するアンケートご協力をお願い

機関誌「K&W(神奈川と溶接)」をご愛読いただきありがとうございます。

より充実した機関誌をお届けするため、アンケート用紙を同封いたしましたのでご協力をお願いいたします。

みなさまのご意見・ご感想をお寄せください。